

## 黒石市・宮古市姉妹都市締結 50 周年記念祝賀会が開催されました

7月30日(土)、黒石市のグリーンパレス松安閣にて、黒石市・宮古市姉妹都市締結 50 周年記念祝賀会が開催され、両市長をはじめ、関係者約120名が出席しました。

黒石市の高樋憲市長は、「昭和 41 年4月1日に姉妹都市締結の調印に至ってから半世紀を迎え感無量である。今後も、産業・文化・教育・スポーツなどさまざまな面で交流を深めていきたい。また、引き続き姉妹都市として、復興に進む宮古市の一助となるよう交流していきたい」とあいさつしました。

山本正徳宮古市長は、「黒石市と宮古市の歴史は古く、浅瀬石城主の千徳氏が宮古の地で逝去し、千徳の地名がついたことや、浅瀬石川の石を津軽石川に投げ込み、津軽石川に鮭が遡上するようになった伝説など、縁はとても深いものがある。この 50 周年を契機に、友好と親善をさらに深め、両市の繁栄につなげていきたい」とあいさつしました。

祝賀会終了後、宮古市からの訪れた人も黒石ねふた祭りに参加。「ヤーレーヤー」の掛け声とともに、ねふたを引っ張り、祭りの熱気あふれる街を運行しました。



両市長により、今後の末永い交流が約束されました。



宮古市から訪れた人も参加



50 周年記念ねふた